２０１９年　１１月　２４日　≪収穫感謝礼拝≫

主　日　礼　拝

	①８時半	②10 時半	③19 時
司　会	①石井師	②石井　秀人兄	③石井師
奏　楽			
祈　祷	①石井師	②白川　達男兄	③石井師
賛　美	聖歌 322 番　＆　～両手いっぱいの愛～		
詩篇 23 篇			
聖　書	①ヘブル人への手紙１２章１～７節		
	②テサロニケ人への第一の手紙１章２～７節		
特別賛美	聖歌656番「わたしのように」聖歌隊有志		
メッセージ	①「耐え忍んで走りぬこう」大川従道主任牧師		
	②「豊かに実を結ぶ人生」石井　潤牧師		
献　金	聖歌392番　＆　～愛する主の～		
祝　祷			〔献金当番：寺澤千姉・渡辺姉〕
お知らせ			【司会者】
賛　美	～叫べ全地よ～		

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

《今週のお知らせ》

１．本日は「収穫感謝礼拝」です。収穫の主に心からの感謝をささげます！

２．本日昼食後１時～、クリスマスに向けて聖歌隊の練習を行います！

３．明日午前 11 時半～、長野市の寺澤千鶴子姉宅にて家庭集会が行われます。

４．今週の祈祷会は、☆早天祈祷会:月曜朝６時。☆木曜祈祷会:①午前 10 時半:ボーマン・ルリ子先生。②夜７時半:大和祈祷会映像。☆準備祈祷会:土曜夜８時。

５. 来週の日曜礼拝では誕生祝福式(アドベント)。午後は聖書の学び会を行います。

１２/８(日):聖餐式/執事会　19(日):大手家庭集会　22(日):クリスマス礼拝＆祝会
24(火):イブムービーナイト　29(日):年末感謝礼拝

一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔11/24－12/1〕

Date	日		月		火		水		木		金		土		日	
旧約	エゼキエル 32・33章		34・35章		36・37章		38・39章		40章		41・42章		43・44章		45・46章	
新約	1ペテロ 1章		2章		3章		4章		5章		2ペテロ 1章		2章		3章	
チェック	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新

「豊かに実を結ぶ人生」

～キリストをお手本とする生き方～

「私たちは、みんなのために欠かさず祈り、神にとても感謝している！ 父なる神を前に思い出す。 みんなの信仰による元気いっぱいの働き。 愛にかられた奉仕。 我らの王、イエス・キリストにある確固たる望み。 教会のみんなよ。みんなが神から選ばれ、神に愛されている事実を、私たちはよく知っている。」

テサロニケ人への第一の手紙1章2～4節〔アライブ訳〕

特に彼らの①「信仰の働き」②「愛の労苦」③「望みの忍耐」を覚えていた。この三重の徳は、新約では繰り返し語られており、キリスト者の生活の要約と見なすことが出来る。

①「信仰の働き」…救いはわざによるのではなく、恵みにより信仰によって受けられるが、信仰は良きわざを伴うものである。彼らの信仰はその働きを通して示された。「働き」は、キリスト者生活のすべての面を含む。

②「愛の労苦」…「愛」(アガペー)は、キリストの贖いによって人類に現された神の愛であり、聖霊によって信じる者の心に注がれる。「労苦」は、激しい労働から来る疲労を意味する。

③「望みの忍耐」…「望み」は主にあるもので、キリストの復活に基を置いており、世の終りの再臨にかかっている。「忍耐」は、新約の用語中最も崇高なものの１つで、３０回ほど使われている。それは陽気な楽観主義や受け身的なあきらめではなく、望みから沸き上がってくる、患難のただ中での不屈の精神である。〈聖書注解から　伊藤淑美牧師　鶴見聖契教会〉

テサロニケで、パウロたちは「天下をかき回してきた者たち」と悪口を言われ（使徒１７章）、散々な目に遭って、逃げて、ギリシャの北のマケドニアから、南のコリントまでやってきました。そして、そのコリントでテサロニケの教会の愛するクリスチャンたちに書き送っています。

パウロにとって、その前に寄ったピリピの教会や、ベレヤの群れ、アテネでの出来事も大きくありましたが、このテサロニケの人々に事を思い、すぐに手紙を書き送っています。よほど、その手紙を書き送る必要を感じていたのだと言えます。

テサロニケの人たちは純粋で、忠実に神に仕えていた人々であったようです。パウロが語った終末における主のご再臨の約束を堅く信じて、すぐにでも主が来られるかもしれないと、普段の生活も忘れてしまうほど、再臨を真直ぐに受け止めようと待ち構えるようになりました。ちょっと極端なところがあったのかもしれません。純粋で忠実なところは素晴らしいのですが、普段の生活とのバランスを上手に取ることを教えました。「信仰」と「生活」がバラバラになってしまうのではなく、私たちの生活、人生そのものが信仰によって整えられる必要を伝えました。

本日は「収穫感謝礼拝」です。主への感謝と共に、私たちが真に豊かな実を結んでいく、地に足をつけて、天を見上げて進んでいく人生を歩む必要を感じています。皆様の信仰生活はいかがでしょうか？　信仰と生活がバラバラになってしまってはいませんか？　周りの方々に良い証しがなされていますか？　ご家族が明確に主を信じることができますように！